

#003
こんなところにPCが!

ダイナミックな「水の彫刻」
モエレ沼公園 海の噴水

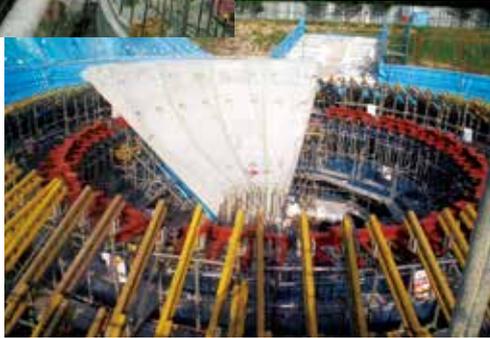


ビッグワン(最大噴上げ高25m)

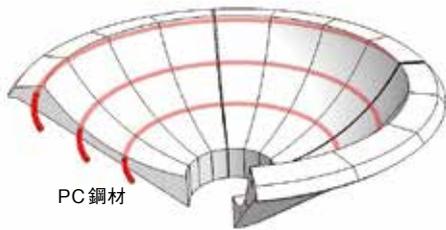
札幌市の北東に位置するモエレ沼公園、彫刻家イサム・ノグチが基本設計を手がけ、「公園全体をひとつの彫刻作品とする」をコンセプトに造成が進められました。100万㎡の広大な敷地には、幾何学的形態を多用した山や噴水、遊具などの施設が整然



アーチ噴射(ライトアップ)



架設状況



PC鋼材

ボウル部



ビッグウェーブ(ライトアップ)



ビッグウェーブ



フォッグ

と配置され、自然とアートが融合した美しい景観を楽しむことができます。その公園の中央に設置されている直径48mの大きな噴水に、PCの技術が使われている事はあまり知られていません。

「海の噴水」と名付けられた、この噴水のボウル部と呼ばれるお椀の形をした部分がPC構造物となっているのです。当初、現場打ちコンクリートによる施工が考えられましたが、ボウル内面のアーチ形状の施工が難しく、またコスト高となるため、ボウル部を16分割したピースを工場製作し、それを現地で繋ぎ合わせる方法が採用されました。

現地では、各ピースを200t吊クレーンで架設し、繋ぎ合わせた後、ボウル部を巻くようにPC鋼材を配置し、緊張しました。

この「海の噴水」には、幾つかのプログラムが用意されており、1日3〜4回楽しむことができます。例えば、高さ25mまで噴上がった後、水面全体がうねりながら徐々に水が満ちていく様子は海の嵐を表現しており迫力満点、まさにダイナミックな「水の彫刻」です。夜にはライトアップされ、昼とは異なる光と水の幻想的な共演も楽しめます。

日本高圧コンクリート(株) 山口拓也

* 写真提供:モエレ沼公園